

CF-AX2 シリーズ
(Windows 8 (64bit) / Windows 7 (32bit/64bit))
画面回転用センサー制御 DLL 1.0.0.3 アップデート手順書

公開日 : 2013 年 3 月 12 日

本書では、上記機種を Windows 8 (64bit) / Windows 7 (32bit/64bit) でお使いのお客様のために、センサー制御 DLL を 1.0.0.3 にアップデートする手順について説明します。

【ご注意】

- ・ 手順書に記載しました画面は、Windows 8 の画面になります。
Windows 7 では多少の差異があります。
- ・ センサー制御 DLL のアップデートを実行する際は、必ず「**コンピューターの管理者**」の**権限のユーザーでログオン**してください。(ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにコンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。)

【お願い】

センサー制御 DLL のインストールを行う際には、以下の事項をお守りください。

- ・ AC アダプター、および十分に充電されたバッテリーパックを接続しておいてください。
- ・ USB 機器、PC カード等の周辺機器はすべて外してください。
- ・ センサー制御 DLL インストールプログラム以外のアプリケーションソフトはすべて終了してください。

【アップデート方法】

センサー制御 DLL のインストールは下記の流れで行います。

1. センサー制御 DLL のバージョン確認
2. センサー制御 DLL 1.0.0.3 のダウンロードと展開
3. ダウンロードしたセンサー制御 DLL 1.0.0.3 のインストール
4. センサー制御 DLL のバージョン確認

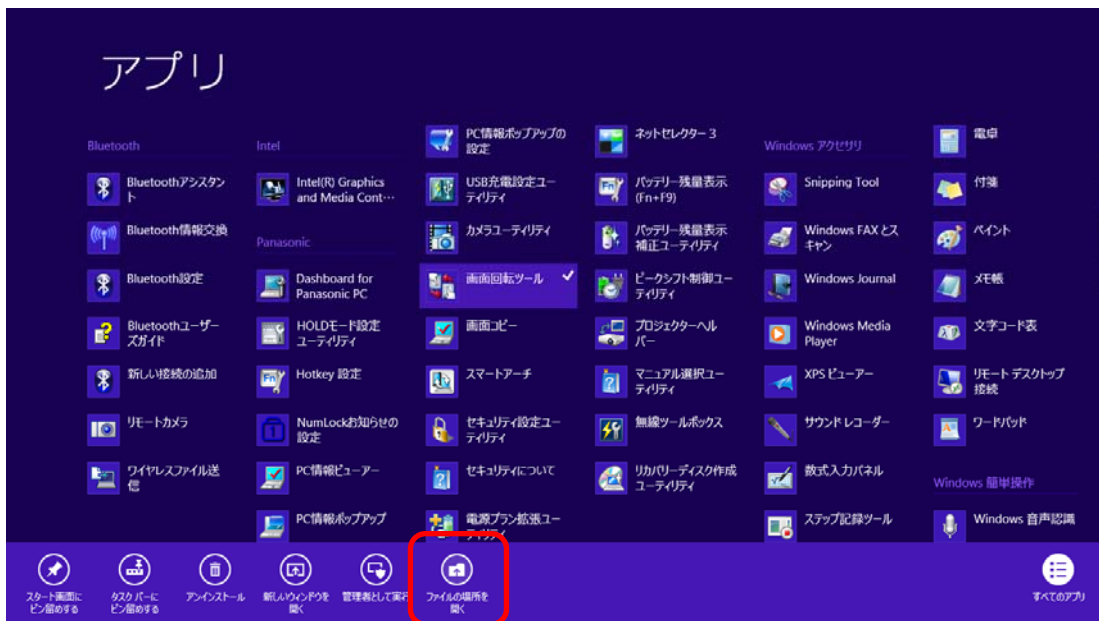
センサー制御 DLL のインストールは、必ず最後まで行ってください。途中で中断した場合、正常動作は保証できません。

1. センサー制御 DLL のバージョン確認

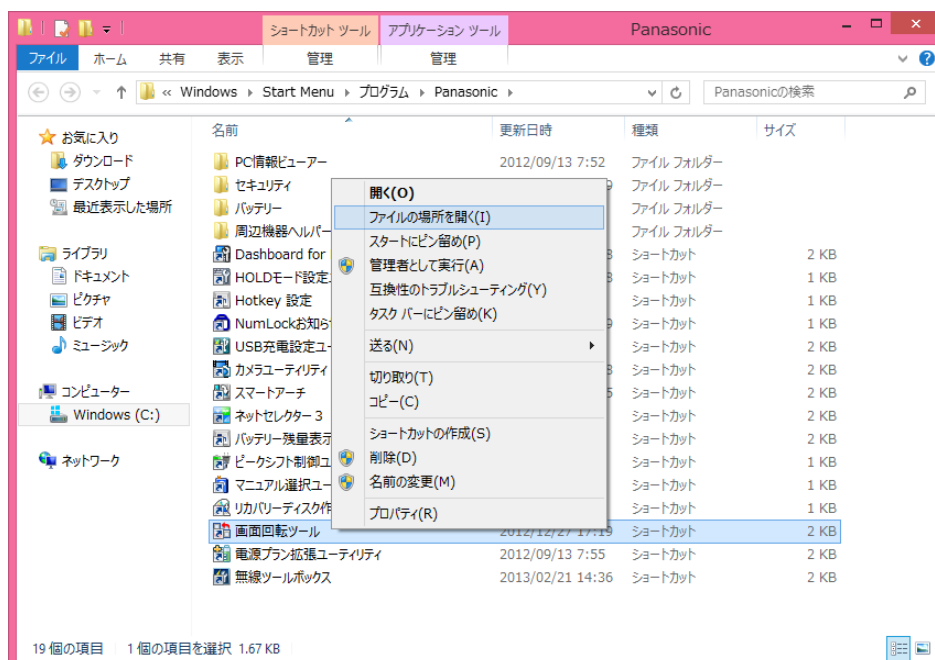
センサー制御 DLL のバージョンは、下記の手順で確認します。

(Windows 8 の場合)

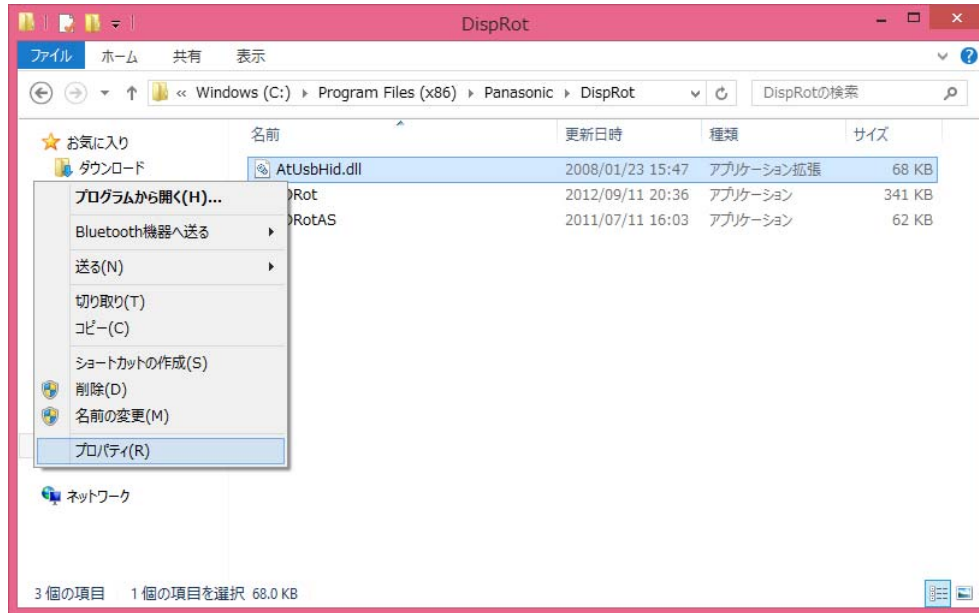
- (1) スタート画面の何も無いところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリックして、「Panasonic」メニューの[画面回転ツール]を右クリックします。
- (2) [ファイルの場所を開く]をクリックします。



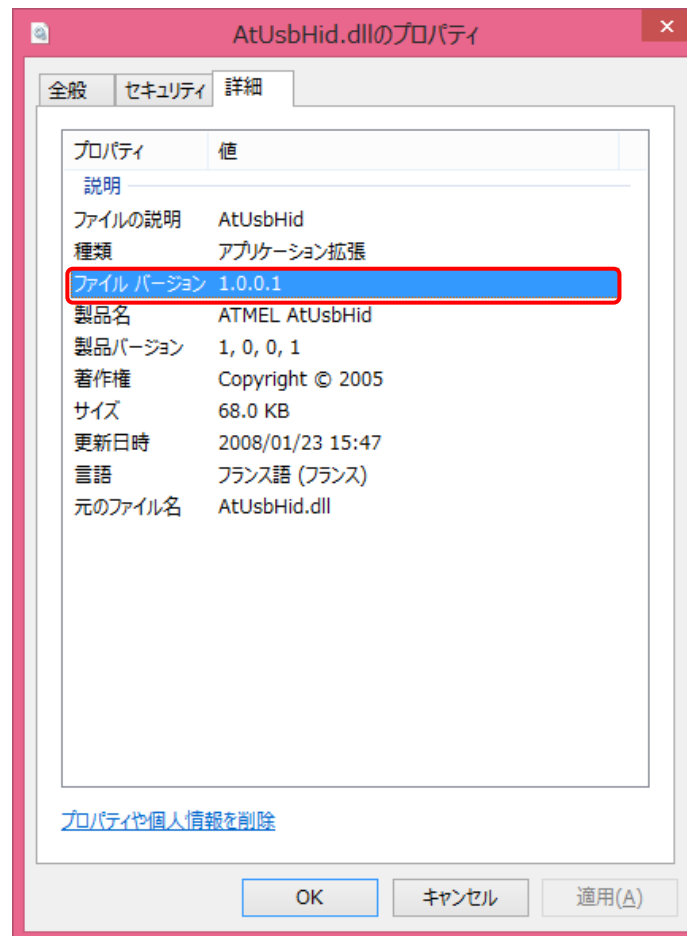
- (3) [画面回転ツール]を右クリックし、[ファイルの場所を開く]をクリックします。



(4) [AtUsbHid.dll]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



(5) [詳細]タブをクリックし、「ファイルバージョン」を確認します。

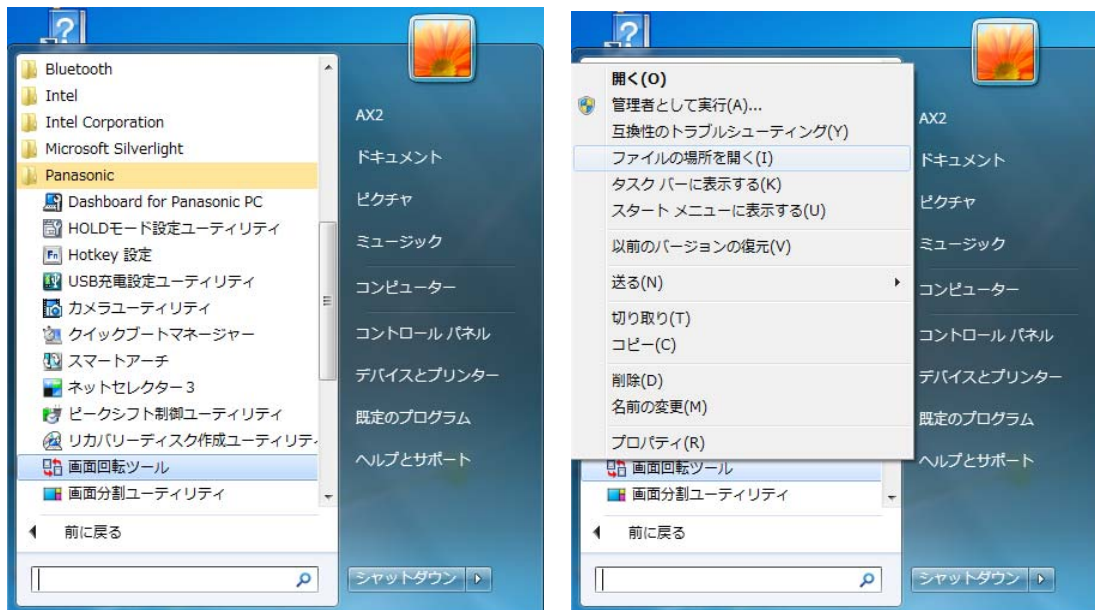


ファイルバージョンが下記の値以降のバージョンになっている場合は、アップデートする必要はありません。

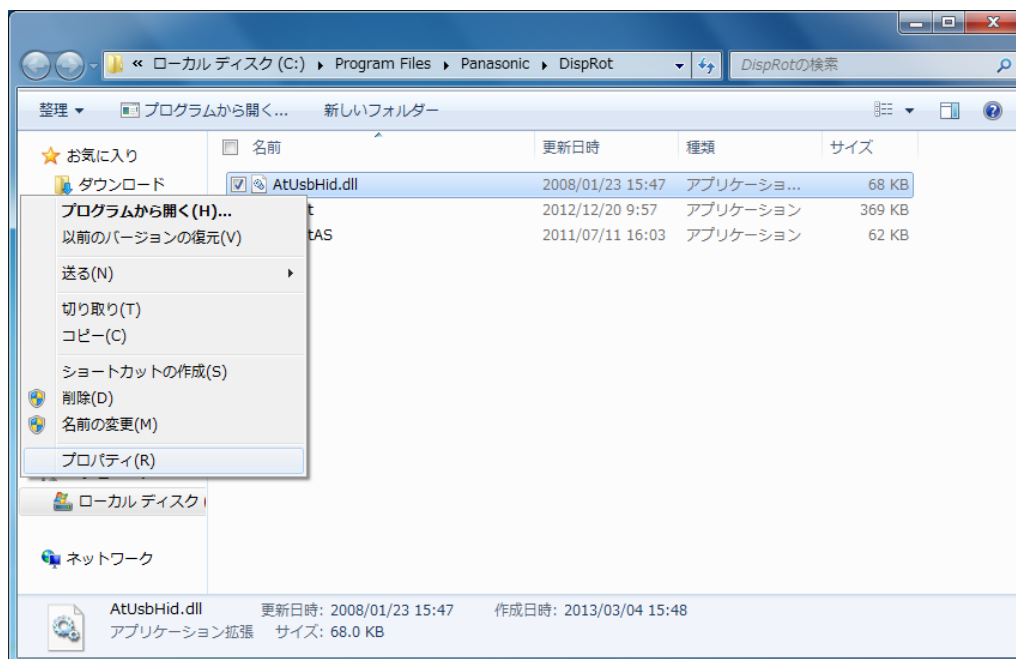
1.0.0.3

(Windows 7 の場合)

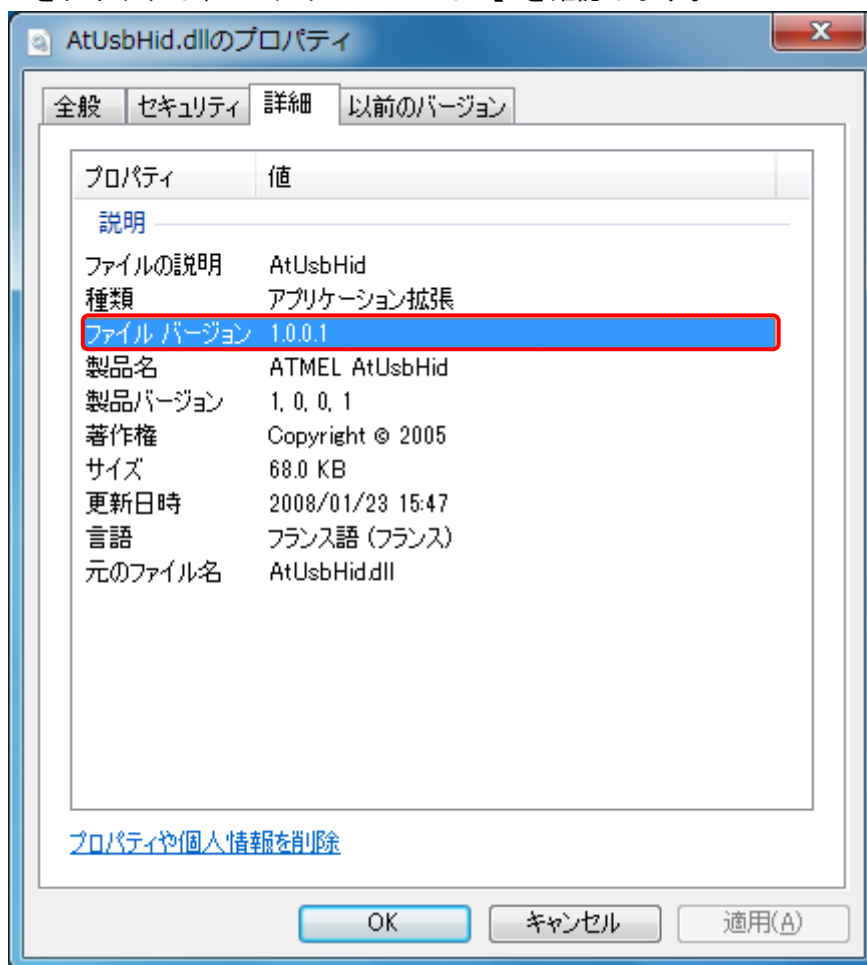
- (1) [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[画面回転ツール]を右クリックし、[ファイルの場所を開く]をクリックします。



- (2) [AtUsbHid.dll]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



(3) [詳細]タブをクリックし、「ファイルバージョン」を確認します。



ファイルバージョンが下記の値以降のバージョンになっている場合は、アップデートする必要はありません。

1.0.0.3

2. センサー制御 DLL のダウンロードと展開

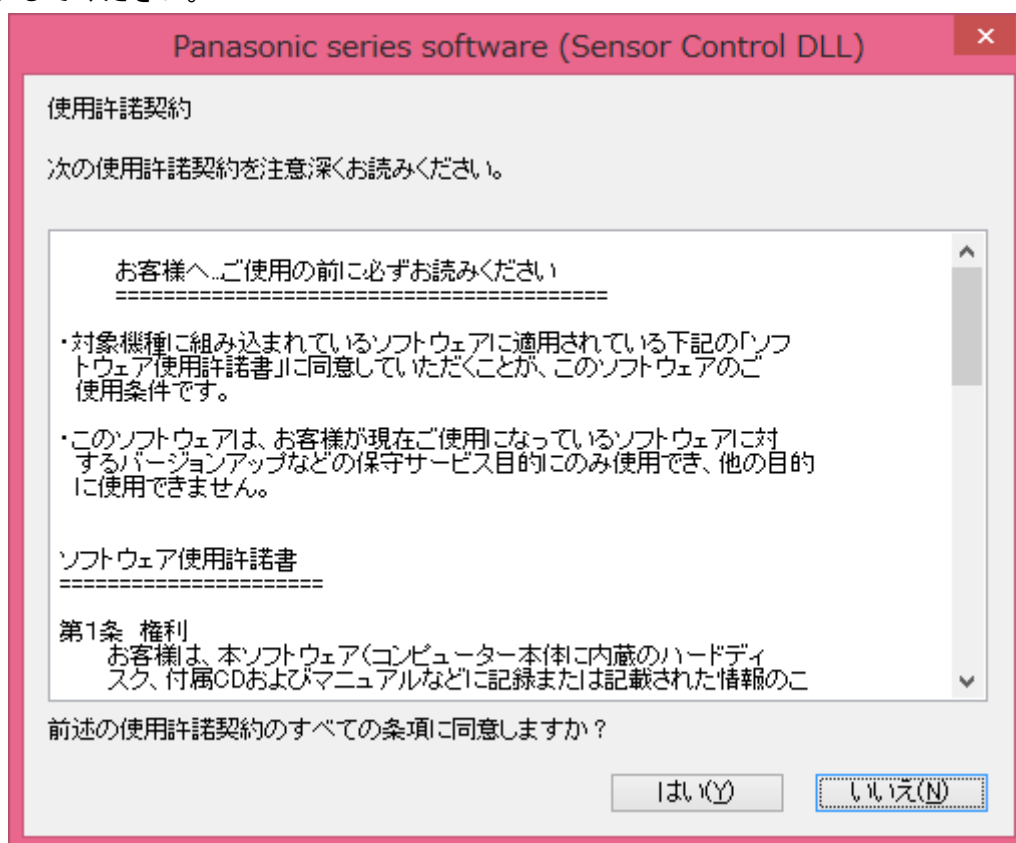
センサー制御 DLL をインストールするためには、まずダウンロードページに掲載されているプログラムをダウンロードした後、対象機種種の Windows 上で実行し、展開先フォルダにファイルを展開します。

掲載されているプログラム：

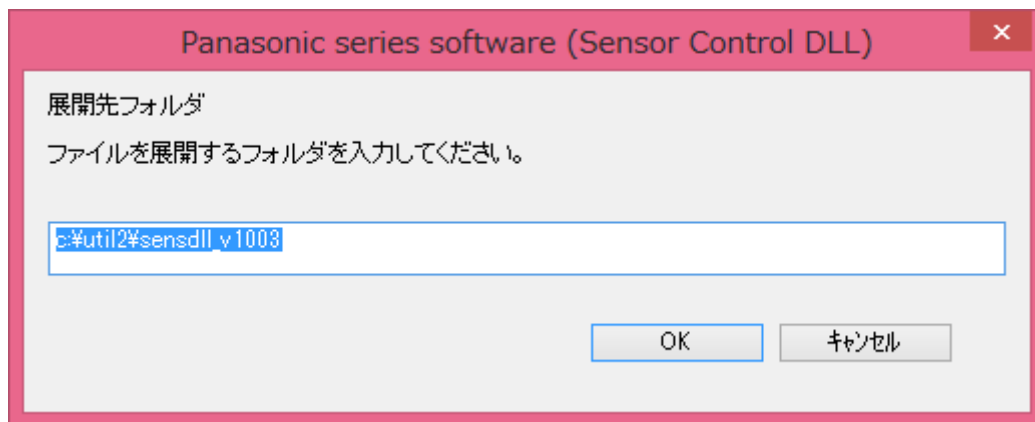
Windows 8(64 ビット) / Windows 7(32 ビット/64 ビット) 共通：

sensdll_v1003.exe

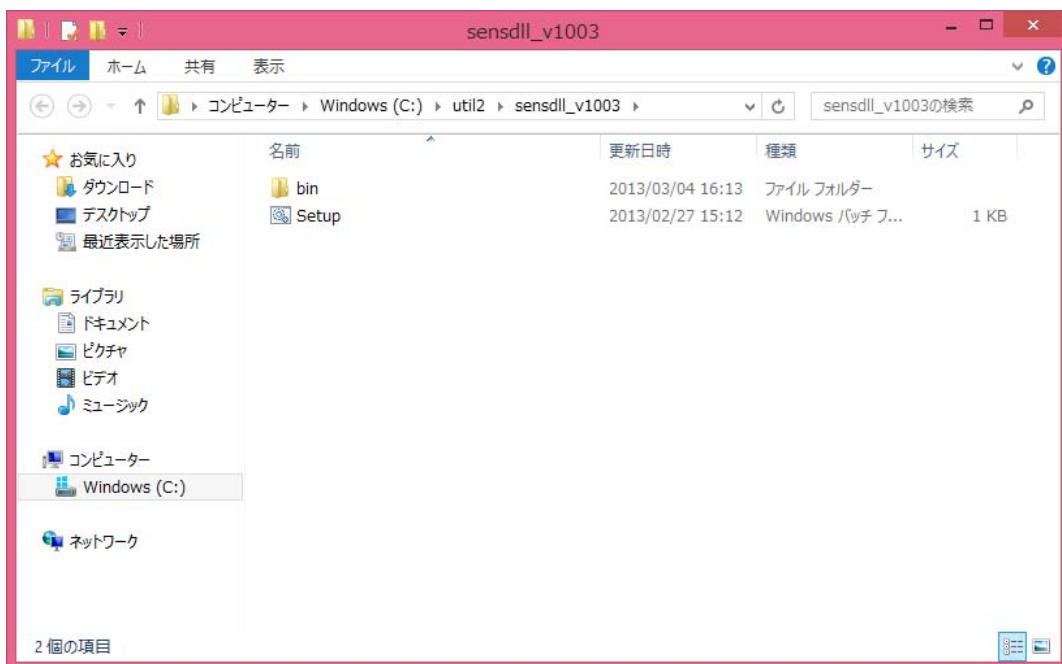
- (1) ダウンロードしたプログラムをダブルクリックして実行します。
- (2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。
- (3) 使用許諾契約の画面が表示されますので、内容をよくお読みいただき、「はい」をクリックしてください。



- (4) 展開先フォルダを設定する画面が表示されます。展開先フォルダは、プログラムが自動的に作成しますので、特に変更する必要はありません。(変更する場合は、必ず、本体のハードディスク上のフォルダを指定してください。展開先フォルダは標準では「c:\util2\sensdll_v1003」が設定されています。)「OK」をクリックしてください。



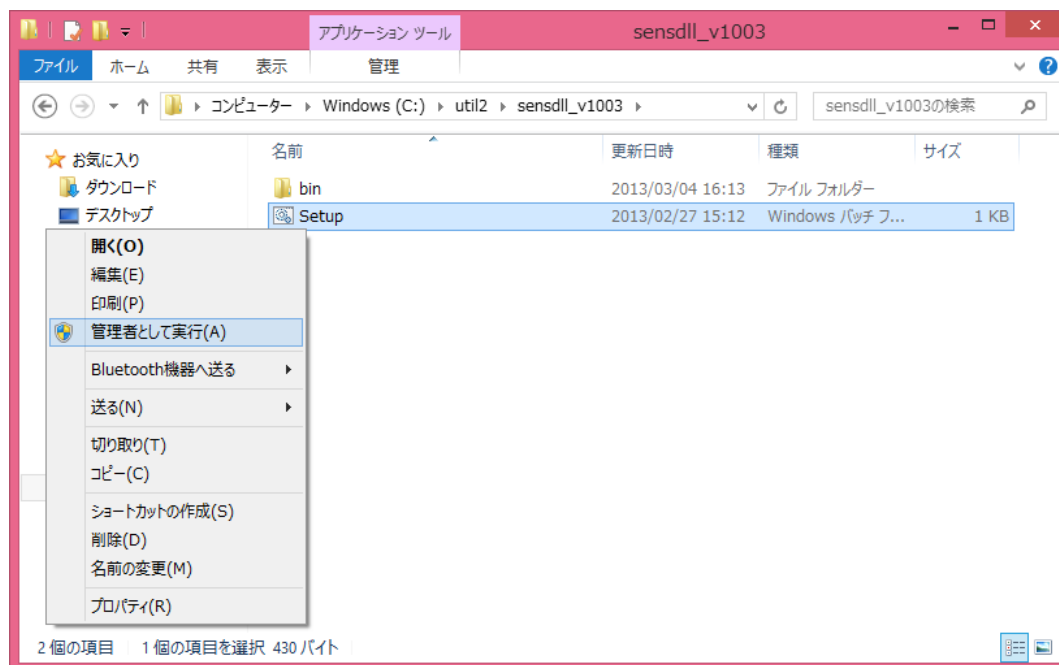
- (5) しばらくして展開が完了すると、展開先フォルダが開きます。



3. ダウンロードしたセンサー制御 DLL のインストール

以下の手順にしたがって、センサー制御 DLL をインストールしてください。

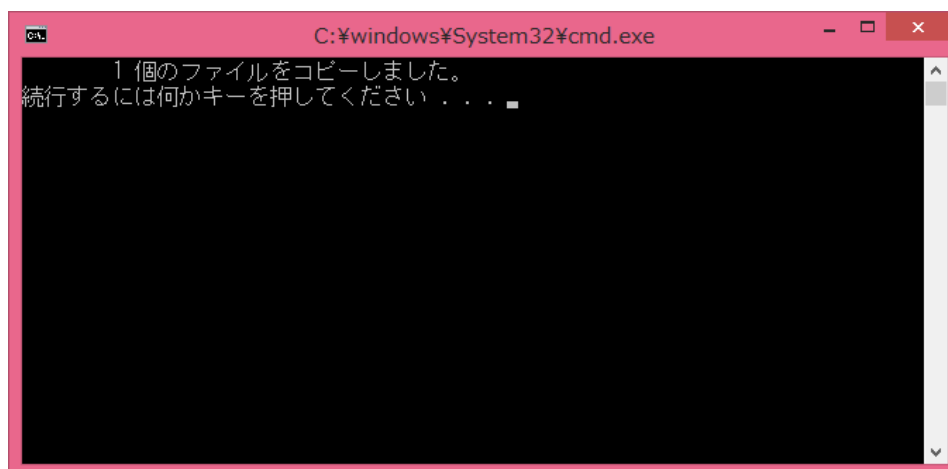
- (1) 2. で展開した展開先フォルダの[setup]（拡張子を表示している場合は、setup.bat）を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。



- (2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。

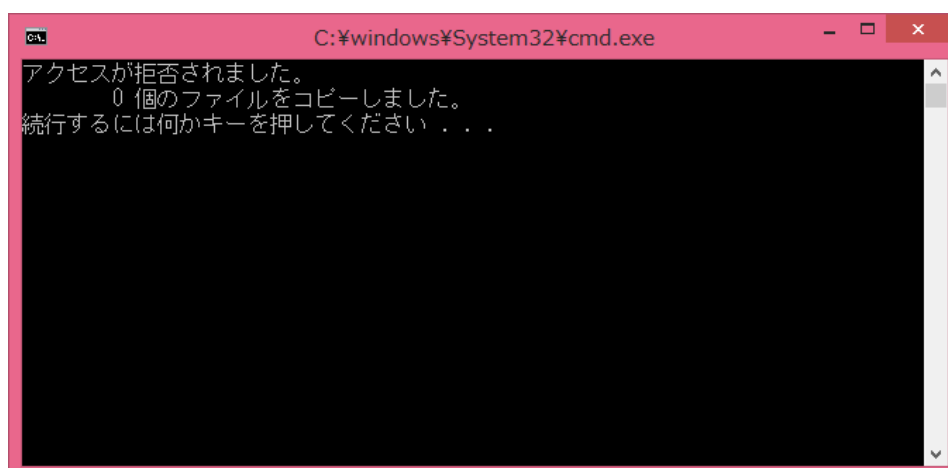
- (3) インストールが終わると、以下のように「1 個のファイルをコピーしました。」と表示されます。この状態で何かキーを押すと、画面は自動的に閉じられます。

センサー制御 DLL のインストール作業は以上で完了です。



- ※ 上記の画面ではなく、以下のように「0 個のファイルをコピーしました。」と表示された場合、[setup]が管理者権限で実行されていない可能性があります。

何かキーを押して画面を閉じた後、[setup]（拡張子を表示している場合は、setup.bat）を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてください。

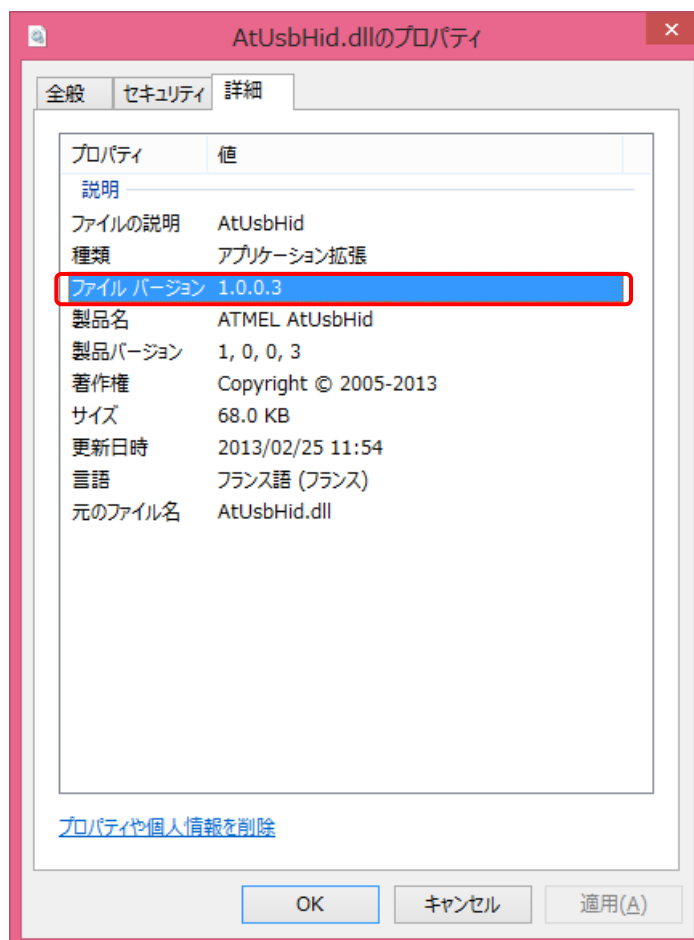


4. センサー制御 DLL のバージョン確認

アップデート終了後、【1. センサー制御 DLL のバージョン確認】に記載の手順にしたがって、センサー制御 DLL のファイルバージョンが

1.0.0.3

と表示されていることを確認してください。



センサー制御 DLL のアップデート作業は以上で完了です。

【お知らせ】

画面回転ツールの再インストールを行った場合、センサー制御 DLL のバージョンは「1.0.0.1」に戻る場合があります。この場合、再度この手順書に従って、センサー制御 DLL をバージョン「1.0.0.3」にアップデートしてください。

以上